公益社団法人 **北海道臨床工学技士会ニュース**

HACET

No.101

ホームページ　http://hcea.umin.ac.jp

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋　高男

〒060-8543

北海道札幌市中央区南1条西16丁目

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院　臨床工学部

TEL　011-611-2111

技士会ニュース101号発行にあたり

公益社団法人北海道臨床工学技士会
会長　室橋　高男

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より技士会活動に対しましては積極的なご参加とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、技士会ニュースも記念すべき100号を発行した後、101号を迎えることとなりました。初刊から現在までの歴史は臨床工学技士の活動履歴ともいえるでしょう。今後は技士会ニュースと共に、当会の歴史を重んじつつ、諸先輩方の期待に応え、かつ会員皆様から興味をもっていただけるような職能・学術団体として更なる飛躍を目指し、活動していきたいと思います。加えて、公益団体である自覚を持ち、公益事業をより一層推進する中で、北海道内における社会的認知と地位向上を目指します。

今後共、更なる会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

北海道医療技術者連絡協議会道庁パネル展

去る８月 18、19 日に北海道医療技術者連絡協議会道庁パネル展が北海道庁の展示場で開催され、２日合わせて約 300 名の来場がありました。熱心な質問などに対応し日頃の活動などを理解していただくには大変よい機会であったと思います。

その中で「臨床工学技士をご存知ですか？」という問いに対し、「聞いたことあります」という回答が、例年よりも増えたような感がありました。

また、公益社団法人北海道臨床工学技士会では公益事業の一環として、AED に対する日常点検の啓発に努めておりますが、本パネル展においても訓練用の AED を展示し、興味を示した方々には、公益事業の内容についても説明し、点検の重要性を説明したところ、「点検しなくてもいいと思ってた」とか「大切なことだよね」などのコメントもあり、臨床工学技士と言う資格に興味を持って頂き、具体的な仕事内容をアピールすることが出来たと思われます。

パネル展の様子

第22回北海道臨床工学会　開催予告

■会　　　期　2011 年 12 月 4 日（日）
■会　　　場　北大学術交流会館
　　　　　　札幌市北区北 8 条西 5 丁目
■大　会　長　室橋高男

上記日程で第22回北海道臨床工学会が開催されます。
会員みなさまの日常業務及び創意工夫、研究など奮って多数の演題発表をお願い申しあげます。
時節柄、御多忙のことと存じますが多数の参加をお願い申しあげます。
詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページをご覧下さい。

◆◆◆◆◆◆　演題発表者の皆様へ　◆◆◆◆◆◆

1. ご発表頂きます時間の少なくとも 30 分前までに必ず会場受付にお越し下さい。試写と通過確認を致します。ファイルが開かないなどのトラブルを考え早めにお越し下さい。
2. 一般演題は口演 7 分、討論 3 分とします。時間厳守でお願い致します。一般講演発表者は発表予定時間 10 分前には次演者席にご着席下さい。
3. 登録時は口演・ポスターを選択できますが今回は口演のみです。査読によって採用不可となる場合があります。採用演題数が多い場合は学会事務局にて口演、討論時間の調整を行う可能性がありますがご了承下さい。
4. 全会場、コンピュータープレゼンテーションのみが可能です。35mm スライドでの発表はお受けできませんのでご注意下さい。発表中のスライド操作は発表者に行って頂きます。音声の利用はできません。
5. 発表データファイルを保存した CD-R、USB フラッシュメモリのメディアをお持込み下さい。過去の例では、古い OS の PC で焼いた CD-R のファイルが開けなかった、あるいは USB メモリが受け付け後に読み込み不能となった事例がありましたので CD-R と USB フラッシュメモリの両方でお持ち頂くことを強く推奨致します。MO やフロッピーディスクなど他のメディアはご利用できませんので予めご了承下さい。
6. 事務局にてご用意しておりますパソコン(Windows)には Microsoft Office の PowerPoint をインストールしております。上記環境にて正常に作動するデータのご用意をお願い致します。
   対応ソフトは Windows 版 Microsoft の Power Point のみです。
7. Macintosh で作成したファイルは Windows で動作確認をしてからお持ち下さい。
8. 動画は可としますが、そのファイルを作成した PC 以外で再生する場合は動画へのリンクの再設定が必要になります。また事務局で用意する PC に動画再生に必要な Video codec が Install されていない場合は、再生できないことが多々ありますのでご自分の PC を持参して下さい。
9. ファイルの修正は PC 受付コーナーで対応できるようにします。
10. フォントは文字化けを防ぐため、下記フォントを推奨します。
   ■日本語・・・・MS ゴシック、MS 明朝
   ■英　語・・・・Century、Century Gothic
11. 発表された方は原稿を会誌に掲載いたしますので、この後の投稿規定をよく読み、当日、受付に投稿原稿を提出して下さい。

「公益社団法人　北海道臨床工学技士会」　投稿.執筆規定

1. 北海道臨床工学技士会会誌では、研究論文、研究速報、症例報告など、他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿は北海道臨床工学技士会会員とします。
3. 原稿提出の基本
   1)原稿の大きさは**A4判(縦使用)**横組み、パソコンにて、**1行40字×40行(1600字)**にしてください。
   2) 図表はA4用紙に**図表だけをプリントアウト**した物を提出してください。
   3)原稿枚数は規定しませんが、**図表の合計は10点以内**を目安にしてください。
   4)図表を含めた提出原稿は、原本の他にコピーを添付してください。
   5)作成した原稿は、プリントアウトしたもの1部と**CD-R**または**DVD-R**(Windowsのフォーマットでワード文かテキストファイルで保存)を添付してください。なお、提出して頂いたメディアは返却致しません。
4. 投稿原稿の採否は、編集会議で討議し決定します。また、編集規定に従い、原稿の加筆、訂正、削除などをお願いする場合もあります。
5. 原稿執筆の順序
   1)見だし番号は以下の様にしてください。
   1．____________見だし
   1)．____________小見だし
   (1)
   2) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は以下の様にしてください。
   1．緒言　　(はじめに、まえがき)
   2．研究方法 (対象、症例、方法)
   3．研究結果 (結果)
   4．考察
   5．結論　　(結語、まとめ、おわりに)
6. 参考文献の記載方法
   本文中の参考文献番号は右肩付文字にて下記要領で記載してください。なお、共著の場合は、その氏名を3人とし、3名以外の扱いは、「3人目の氏名,ほか:」と記載してください。
   1)参考文献の書き方
   (1)雑誌の場合
   ・著者名,共著者名,共著者名,ほか ： 論文題名，雑誌名巻(号)；初頁-終頁,発行年.
   (2)単行本の場合
   ・著者名 ： 書名．版，出版地．出版社．発行年．初頁-終頁
7. 図表の規定(写真は図として扱う)
   1)図表に使用する文字は**明朝体**を使用して下さい。
   2)提出する図表は、**白黒で光沢鮮明な手札**以上の写真、または同等以上の解像度を有したものにしてください。
   3)**表題**は、**図は図の下**に、**表は表の上**に記載してください。

各セミナー盛会のうちに終了

第2回北海道呼吸療法セミナー・第6回医療安全セミナー

呼吸療法セミナーの様子

去る 8 月 21 日に北大学術交流会館 2F 講堂において第 2 回北海道呼吸療法セミナーが開催されました。本セミナーは「人工呼吸管理下の栄養管理」、「呼吸と循環　～互いが及ぼす影響～」、「人工呼吸中の鎮静について」、「人工呼吸レベルアップ講座」と日々の業務ですぐに役に立つ有意義な講演ばかりでした。特に豚肺を用いたデモンストレーションではリクルートメントの効果を目の当たりにする事となり、人工呼吸療法に対する考え方が変化した方もいらしたのではと思います。

また、本セミナーは 3 学会合同呼吸療法認定士の単位取得の認定を受けられるように準備しておりましたが、東日本大震災の影響を受けた諸事情により見送られることとなりました。そのような中、約 130 名のご参加をいただき、無事盛会のうちに終了することができました。

第2回 北海道呼吸療法セミナー

日　時：平成23年8月21日（日）9:30開場
会　場：北大学術交流会館 2F講堂 札幌市北区北8条西5丁目
参加費：¥4,000 学生：¥1000 定員200名で締切、最終締切日は8月15日
申し込み方法：公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページ
申し込みフォームおよび、FAX:011-832-3913

http://hcea.umin.ac.jp

開会の辞　公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会長 札幌医科大学附属病院 室橋 高男

教育講演 Ⅰ　10:00～10:50　共催：アボット・ジャパン株式会社
座長 北海道大野病院 集中治療室師長 集中ケア認定看護師 [illegible] 先生
人工呼吸管理下の栄養管理 ～特に急性呼吸不全へのアプローチ～
岐阜大学医学部付属病院 高次救命治療センター 白井 邦博 先生

教育講演 Ⅱ　11:00～11:50
座長 心臓血管センター北海道大野病院 臨床工学部 [illegible] 先生
呼吸と循環 ～互いが及ぼす影響～
旭川赤十字病院 救急部 部長 小林 巌 先生

教育講演 Ⅲ　12:10～13:00
座長 北海道大学病院 ME機器管理センター 寒河江 磨 先生
人工呼吸中の鎮静について
札幌医科大学医学部 救急・集中治療医学講座 講師 升田 好樹 先生

教育講演 Ⅳ　13:20～16:20　共催：ドレーゲル・ジャパン株式会社
座長 旭川医科大学病院 診療技術部 宗万 孝次 先生
人工呼吸レベルアップ講座
東京女子医科大学 東医療センター 佐藤 敏朗 先生

閉会の辞　公益社団法人 北海道臨床工学技士会 副会長 旭川赤十字病院 脇田 邦彦

共催：公益社団法人 北海道臨床工学技士会
共催：アボット・ジャパン株式会社　共催：ドレーゲル・ジャパン株式会社

第6回 医療安全セミナー
輸液療法 これだけ知っておけば大丈夫！

日　時：平成23年9月18日（日）9:30開場　http://hcea.umin.ac.jp
会　場：北大学術交流会館 札幌市北区北8条西5丁目
参加費：¥4,000 学生：¥1000 定員250名で締切、最終締切日は9月10日
申し込み方法：北海道臨床工学技士会ホームページ申し込みフォーム、およびFAX

開会の辞　公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会長 室橋 高男

教育講演 Ⅰ　10:00～10:50
座長 手稲渓仁会病院 臨床工学部 古川 博一 先生
安全な輸液投与環境の実現に向けて ～BSI CDCガイドラインの改訂を踏まえて～
テルモ株式会社 営業統轄部 学術チーム 札幌統轄支店
TERUMO　渥美 栄一郎 先生

教育講演 Ⅱ　11:00～11:50
座長 函館五稜郭病院 臨床工学科 [illegible] 先生
輸液・シリンジポンプの落とし穴
旭川赤十字病院 医療機器安全管理責任者
医療技術部 臨床工学課長 脇田 邦彦 先生

ランチョンセミナー　12:10～13:00
座長 旭川医科大学病院 診療技術部 成田 孝行 先生
知らなきゃ危ないこんなこと！ ～輸液を適正に行うために必要な周辺知識～
株式会社ジェイ・エム・エス 営業推進本部 輸液輸血システム課長
JMS　佐藤 喜典 先生

教育講演 Ⅲ　13:10～14:00
座長 旭川市立病院 臨床器材科 河田 修一 先生
感染制御の視点から見たリスクマネージメント ～安全な医療を目指して～
旭川赤十字病院 看護副部長 医療安全推進室副室長
感染管理認定看護師 平岡 康子 先生

教育講演 Ⅳ　14:10～15:00
座長 北海道大学病院 手術部 加藤 伸彦 先生
CLABSIサーベイランスから行う輸液ライン管理へのアプローチ
北光記念病院 感染制御室 看護課長 感染管理認定看護師
村田 弘美 先生

閉会の辞　公益社団法人 北海道臨床工学技士会 副会長 加藤 伸彦

共催　公益社団法人 北海道臨床工学技士会
株式会社ジェイ・エム・エス　テルモ株式会社

9月18日には北大学術交流会館で、第6回医療安全セミナーが開催されました。本セミナーは「輸液療法　これだけ知っておけば大丈夫！」をメインテーマとして、CDCガイドライン改訂のポイント、輸液・シリンジポンプの落とし穴、PVCフリー、DEHPフリーの意味、輸液ラインの素材と薬剤の相互作用、医薬品と輸液フィルタとの相互作用など知っているようで知らない周辺知識についての講演、さらには感染管理認定看護師による輸液療法の感染対策を含めたリスクマネージメントの推進、輸液ライン管理など安全に輸液療法を行うために絶対に必要な知識を網羅し、実践ですぐに役立つ有意義なセミナーとなるように企画しました。参加者数は約140名のご参加をいただき、無事盛会のうちに終了することができました。

教育講演の様子

医療安全セミナーの様子

何かとご多忙のなか、ご講演いただいた諸先生方、座長を引きうけていただいた諸先生方、共催の各企業の皆様、セミナーの参加者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

医療事故情報収集等事業医療安全情報

（詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧下さい）

医療事故情報収集等事業 医療安全情報　No.56　2011年7月

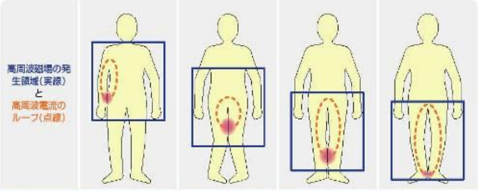
公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業
医療安全情報
No.56　2011年7月

MRI検査時の高周波電流のループによる熱傷

MRI検査の際に、患者の皮膚と皮膚が接触していたため体の一部に高周波電流のループが生じ、熱傷に至った事例が5件報告されています（集計期間:2007年1月1日～2011年5月31日、第22回報告書「個別のテーマの検討状況」（P95）に一部を掲載）。

MRI検査の際、皮膚と皮膚が接触すると高周波電流のループが発生し、熱傷を生じる可能性があります。



熱傷部位	右臀部と右前腕部	両大腿内側部	両下腿内側部	両踵部
報告件数	1件	1件	1件	2件

◆高周波電流のループによる熱傷とは:
高周波磁場が発生する領域で、患者の皮膚どうしが接触することにより、人体の一部で高周波電流のループが形成されると誘導起電力が生じ、誘導電流が流れます。これにより、温度が上昇するために生じる熱傷です。

医療事故情報収集等事業　医療安全情報　No.56　2011年7月

MRI検査時の高周波電流のループによる熱傷

事例 1

骨盤部のMRI造影検査中、患者から「両下腿が熱い」と訴えがあった。MRIによる加熱を疑い皮膚を確認したが、インプラント、皮膚面の異物や刺青などはなく、皮膚反応も見られなかったため、検査を続行した。検査終了後、患者から「検査中にまた下肢が熱くなった」と言われ確認すると、両側下腿内側に1×2cmの紅斑と水疱を認めた。患者は腓腹筋が発達しており、検査台に臥床した際に両側下腿内側が接触し、ループ状の電流による熱傷が生じたと考えられた。

事例 2

両膝のMRI検査を行うために、両膝にボディコイルを巻いた。その際、患者の足にタオルを掛けたため、素足の踵部が接触していることに気付かなかった。検査終了後に患者から「熱かった」と訴えがあり確認すると、踵部にループ状の電流による熱傷が発生していた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- **MRI検査時は、タオル等の緩衝物により、皮膚と皮膚が接触しない体位にする。**
- **検査中、患者に何らかの症状があった場合、検査を中断し、確認する。**

総合評価部会の意見

- **この情報を医療機関内で周知しましょう。**
- **MRI検査時、手足が身体の他の皮膚に接触すると熱傷の可能性があるので、接触しないようにする必要があることを患者さんに伝えてください。**

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構　医療事故防止事業部
〒101-0061　東京都千代田区三崎町1-4-17　東洋ビル
電話：03-5217-0252（直通）　FAX：03-5217-0253（直通）
http://www.jcqhc.or.jp/

医療事故情報収集等事業 医療安全情報　No.57　2011年8月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業
医療安全情報
No.57　2011年8月

PTPシートの誤飲

患者が薬剤を内服する際に、誤ってPTPシートから出さずに薬剤を服用した事例が14件報告されています（集計期間:2007年1月1日～2011年6月30日、第23回報告書「個別のテーマの検討状況」（P100）に一部を掲載）。

薬剤を内服する際に、PTPシートから出すことなく服用した事例が報告されています。

事例1のイメージ　　事例2のイメージ

◆PTP（Press Through Package）シートとは、薬剤をプラスチックやアルミ等で貼り合わせて包装したものです。
◆報告されている事例14件のうち6件は、直前の患者の状態について「精神障害」、「意識障害」または「認知症・健忘」を選択しています。

医療事故情報収集等事業　医療安全情報　No.57　2011年8月

PTPシートの誤飲

事例 1

入院中の患者は、アルファロール1錠のみ、PTPシートから出していないことをうっかり忘れ、そのまま内服した。内視鏡にて食道上部の薬を取り出した。

事例 2

看護師は、内服薬を患者のもとに持参し、一包化された袋の中味と、PTPシートに入ったハルナールとアリセプトを薬杯の中に入れた。患者はPTPシートに入ったままの薬剤を一緒に飲みこんだ。その後、胃内視鏡を行った。

PTP包装シートの誤飲防止対策について、厚生労働省より通知が出されています。
○ 医政総発0915第2号　薬食総発0915第5号　薬食安発0915第1号　平成22年9月15日付
○ 薬食安発0915第3号　平成22年9月15日付

事例が発生した医療機関の取り組み

- **必要がなければ、PTPシートは1錠ずつ切り離さない。**
- **患者の理解力に合わせて、可能な限り一包化する。**
- **患者にPTPシートの誤飲防止の説明を行う。**

総合評価部会の意見

- **配薬の際、PTPシートに入ったままの薬剤や一包化された薬剤など、違う形態のものを一緒に渡さない。**
- **一錠ずつ切り離したPTPシートは、誤飲の危険性があることを患者さんに伝えてください。**

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構　医療事故防止事業部
〒101-0061　東京都千代田区三崎町1-4-17　東洋ビル
電話：03-5217-0252（直通）　FAX：03-5217-0253（直通）
http://www.jcqhc.or.jp/

各委員会
委員長就任挨拶

学術委員会委員長

滝川市立病院
小林　勝

平成 22 年度より学術委員長をしております滝川市立病院の小林です。皆様には日頃から各セミナー、北海道臨床工学会への参加ご協力頂きありがとうございます。

私は学術委員の業務に携り約 10 年になりますが、平成 22 年 11 月 1 日には北海道臨床工学技士会も公益法人となり、会員数も年々増えて現在は約 800 名近い会員となりました。

学術委員会の業務としては、会員の学術的知識の向上を目的に各種の学術セミナー、北海道臨床工学会等の企画、運営などを実施しております。北海道は面積が広く交通的問題もあり会員の皆様には多々ご面倒をかけておりますが、セミナーに関しては会員の皆様の要望に応じた企画をしたいと考えています。次年度に向けて何か要望がありましたら技士会ホームページから気軽にお問い合わせください。

また、11 月 19 日（土）にはアフェレーシスセミナー（札幌）、12 月 4 日（日）には北海道大学学術交流会館で第 22 回北海道臨床工学会も開催いたします。皆様、業務多忙の中とは思いますが、学術知識の向上及び習得、日々の業務課題や問題点の検討など、臨床工学業務発展の意識共有の場としてご参加いただければと思っております。

今後とも各種セミナー、北海道臨床工学会への参加ご協力を宜しくお願いいたします。

また、これからも会員の皆様に興味ある学術的情報を提供できるよう担当理事及び委員の方々と協力して進めていきたいと考えています。

「医療機器にペタリ」
道臨工が判別テープ考案

北海道臨床工学技士会会長　室橋高男

一昨年の北海道臨床工学会において、函館五稜郭病院の雲母さん（当会の安全委員会委員、公益事業推進委員会委員）の発表を皮切りに、病院機能評価対策について、旭川赤十字病院の脇田さん（当会の副会長）と私（札幌医科大学付属病院室橋）で話し合い（内輪では、「たばねらるミーティング」と称してます）を持ち、医療機器に対する点検整備済みかどうか一目でわかる判別テープの作成に取り掛かりました。

函館五稜郭病院では、食品衛生上問題とならない野菜を束ねる「たばねらテープ」を利用していることから、そのテープを採用し、使用者による識別が容易になるようフォーマットについて検討を重ねました。その結果、どの施設でも利用しやすいように、テープ表面へ「整備・点検済み」とシンプルに印字することに決定しました。しかし、次なる問題が・・・印刷会社へ依頼する際、1ロット600本（1本100メートル）の印刷となるとのこと。この量は、1施設で消費すると何十年分に相当するため、現実的ではないことから、そのすべてを買取在庫とし、10本単位で小分けにして販売してもらえる代理店を探しました。その結果、今回販売の窓口となっている株式会社アクティブメディカルによってそれが実現し、当会ホームページよりこの代理店を通して、10本で￥6，300（税・送料込）で購入できるようになりました。今年に入ってからは、脇田副会長のカリスマ的宣伝効果の影響で全国的に売れております。ホームページ上に記載されております唯一の問題となるテープを剥がした際の「糊残り」への対策品も、ニチバンメディカル株式会社の協力のお蔭で本年11月から販売となります。

医療安全上の効果を期待し、当会事業の一環となっておりますので、これを機会に、是非皆様のご施設で、医療機器安全管理の向上に利用して頂ければと思っております。

点検・整備済み！
医療機器にペタリ
道臨工が判別テープ考案

道臨工（室橋高男会長）は、医療機関が点検した医療機器かどうかを簡単に判別できるよう「点検・整備済み！」と印字したテープを考案。公益事業の一環として、実費程度で販売している。

大規模病院ほど医療機器の台数が増え、MEセンターなどを設けて管理する中、点検前・後の医療機器を混在させない管理方法が求められる。管理場所を分ける場合は、使用した医療機器を返却に来た院内スタッフが、間違えて貸し出し用医療機器の収納スペースに置く危険性があり、点検済みを知らせる札をかける医療機関では、かけ忘れ、落下も少なくない。

室橋会長は、函館五稜郭病院の臨床工学技士が、点検した医療機器に野菜結束テープを張り付け目印としていることを、同会主催の学会発表で知り、「安全管理面で非常に有効。会として改良の上、ぜひ普及させたい」と決断。企業の協力を得て製品化した。

緑色の野菜結束テープ（二㌢幅）に白抜き文字で「点検・整備済み！」と明記。医療機器に張るだけで安全運用に効果的との評判が口コミで広まり、これまでに道内外の医療機関四十件以上に販売したという。

テープは一本当たり長さ百㍍で、十本セット六千三百円（送料込み）。別売りで専用テープカッターもある。

問い合わせ・購入は同会ホームページhttp://plaza.umin.ac.jp/~HCEA/index2.html。

医療機器に張り付けるだけ。一目で点検済みを判別できる

平成 23 年 9 月 2 日発行　北海道医療新聞掲載

an Introducer

File_3　会員たちの業務紹介

市立稚内病院
臨床工学科

当市は北緯 45 度に位置する日本最北端にあり、晴れた日には 40 数km離れているサハリンの島影を望むことができる国境の街です。

当施設は市内の中央に位置する病床数 362 床の中核病院であり、利尻、礼文はもとより宗谷管内約 10 万人の人達の二次救急医療機関として 24 時間 365 日の救急医療を担い、地域医療に一丸となって取り組んでおります。

我々臨床工学科が関わる透析施設が開設したのは昭和 53 年のことです。当初は 2 台の透析装置で急性腎不全治療を目的にスタートしました。しかし稚内市には既に 5 名の患者さんがおり、その患者さん達は札幌や旭川などで透析を受けていたので翌昭和 54 年に透析装置を 4 台に増やし当院で透析が受けられるようになりました。最も特徴的な事は 33 年の歴史の中で医師の交代がほぼ 2 年で行われ、今まで延べ 35 名の医師が透析医療に関わって来ました。

現在透析施設は、2 回に渡って拡大され 33 床のベッド数で CAPD も含め患者数は 99 名です。利尻、礼文の離島をはじめ遠くは遠別町から患者さんが通って来られ、常に満床に近い状態です。特に 6、7 月頃からお盆の時期は観光や帰省でたくさんの患者さんが来られます。

臨床工学技士の業務内容として現在 6 名で透析及び様々な血液浄化を始め、輸液、シリンジポンプ、人工呼吸器、除細動器、AED、IABP、PCPS 等の保守、点検、管理を行い、手術室での業務も行っています。また各種研修等の計画及び実施等も年間活動の中に入っています。

しかし、本年 3 月まで循環器科の心臓カテーテル検査業務も行っていましたが、4 月から循環器内科医の撤退により現在休止の状態です。

最北の地、稚内にお越しの際はぜひ声をおかけ下さい。海も山も美味しい物ばかりです。お待ちしております。

文責　田中　宰

◆RM ニュース◆

＜救急車で AED 使えず、パッド補充忘れ＞

秋田県内の消防署が、救急車に AED(自動体外式除細動器)の電極パッドを積んでいなかったために、7 月 23 日に搬送中の患者を治療できなかったことが 11 日に分かった。患者は死亡したが、同署は「AED を使えなかったこととの因果関係がない」としている。

同署によると、7 月 23 日午後 1 時 55 分、市内の老人介護施設から 119 番通報があり、同 59 分に施設へ救急車が到着。救急隊員が 70 代女性の心肺停止を確認し、AED を使用しようとしたところ、パッドがないことに気付いた。治療法を酸素吸入と心臓マッサージに切り替えて市内の病院に搬送したが、女性はその後死亡した。

パッドは 2 枚 1 組の使い捨てタイプ。AED に 2 組、救急車内に 1 組装備することになっているが、前日の 22 日に最後の 1 組を使用した後、補充をしなかったらしい。23 日の朝に機材を点検したが、パッドがないのに気付かなかったという。

(2011 年 8 月 12 日　毎日新聞社)

＜医療事故報告が過去最多
昨年 2700 件、機構集計＞

2010 年に日本医療機能評価機構(東京)に報告された医療事故は 2703 件で、05 年の集計開始以降最多となったことが 30 日、同機構のまとめで分かった。因果関係は不明だが、事故後 2 週間以内に患者が死亡したケースが 227 件(8.4%)あった。

同機構によると、投薬量の間違いや、透析患者に禁じられている薬を使ったミス、歯がほとんどない患者に通常の食事を与えて窒息を招いたなどのケースがみられた。

報告事業に参加したのは 850 医療機関で 09 年から 150 カ所増えた。報告された事故件数は 09 年と比べ 639 件の増加。同機構の担当者は報告件数が過去最多となったことについて「参加施設が増え、報告の意識も高まっている。似たような事故が繰り返し起きており、再発防止に努めてほしい」と話した。

医療事故とは別に、事故につながりかねない「ヒヤリ・ハット」事例として医療機関から報告があったのは約 56 万件。薬局のヒヤリ・ハットは 1 万 2904 件だった。

(2011 年 8 月 31 日　共同通信社)

10月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

****

2011 年 10 月 29 日（土）
「北海道手術室安全セミナーin 帯広」
会場　とかちプラザ
帯広市西4条南13丁目1番地
http://hcea.umin.ac.jp/

****

2011 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）
「第2回卒後教育セミナー」
会場　ムトウ本社会議室
札幌市北区北11条西4丁目
http://hcea.umin.ac.jp/

****

2011 年 11 月 19 日（土）
「アフェレーシス技術セミナー2011」
会場　準備中
(決定次第ホームページ上でお知らせします)
http://hcea.umin.ac.jp/

****

2011 年 11 月 27 日（日）
「第 80 回　北海道透析療法学会」
会場　札幌コンベンションセンター
札幌市白石区東札幌6条1丁目
http://www.dotoseki.net/

****

2011 年 12 月 4 日（日）
「第 22 回　北海道臨床工学会」
会場　北大学術交流会館
札幌市中央区北 8 条西 5 丁目
http://hcea.umin.ac.jp/

****

酸素と二酸化炭素のボンベ取り違え防止対策の周知徹底

医政総発0725第3号
薬食安発0725第1号
平成23年7月25日

各 都道府県／保健所を設置する市／特別区 衛生主管部(局)長殿

厚生労働省医政局総務課長
厚生労働省医薬食品局安全対策課長

酸素ボンベと二酸化炭素ボンベの取り違えに起因する健康被害の防止対策の徹底について（医療機関への注意喚起及び周知徹底依頼）

診療の用に供する医療ガスを充てんしたボンベについて、酸素ボンベと二酸化炭素ボンベの取り違え等の、装置の誤接続を行ったことによる、患者に深刻な健康被害が生じた事故が報告されています。

つきましては、患者の生命に直接被害を及ぼす可能性のある、酸素ボンベと二酸化炭素ボンベの取り違え事故等の発生を防止するため、下記の留意事項について、貴管下医療機関への周知徹底方お願いします。また、医療機関において、医療に係る安全管理のための委員会の関係者、医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等に対して周知されるようご配慮願います。

記

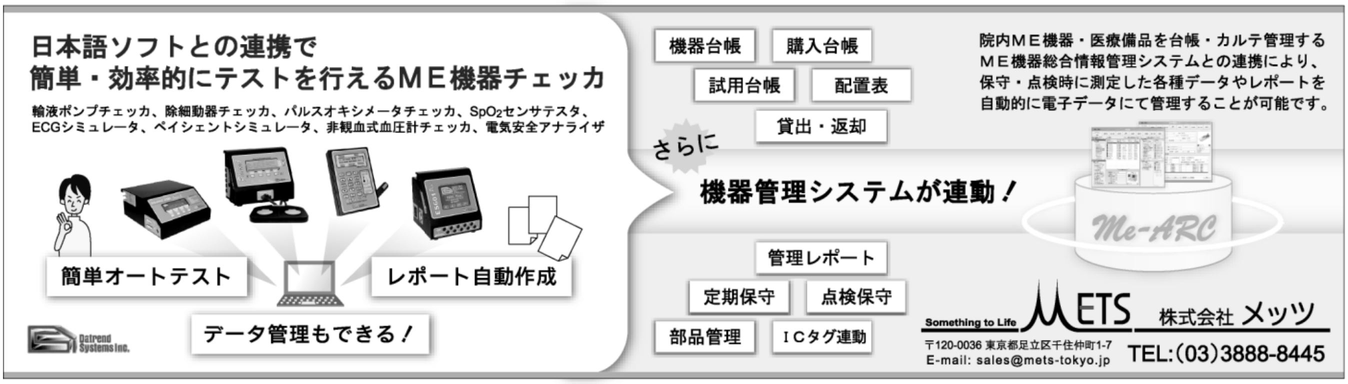
1. 医療用酸素ボンベと医療用二酸化炭素ボンベの取り違え等、装置の誤接続に起因する健康被害を防止するため、レギュレータ等との接続部の形状及びボンベ本体の色がガス毎に特定化されたボンベを使用すること。また、両者の相違について、関係者に改めて周知徹底すること。
2. 医療用ガスボンベについては、使用時のみボンベとレギュレーター等を接続し、保存時にはボンベからレギュレータ等を外すことを徹底する等、医療ガスの適切な業務遂行と安全管理体制を確保すること。
3. 医療行為に必要のない医療ガスボンベ及び工業用のガスボンベ等を、診療現場に持ち込まないこと。

参考
- ○「診療の用に供するガス設備の誤接続防止対策の徹底について」（平成21年3月3日医政指発0303001号厚生労働省医政局指導課長通知）
- ○ PMDA医療安全情報No.13「ガスボンベの取り違え事故について」（平成21年10月医薬品医療機器総合機構）

理事会からのおしらせ

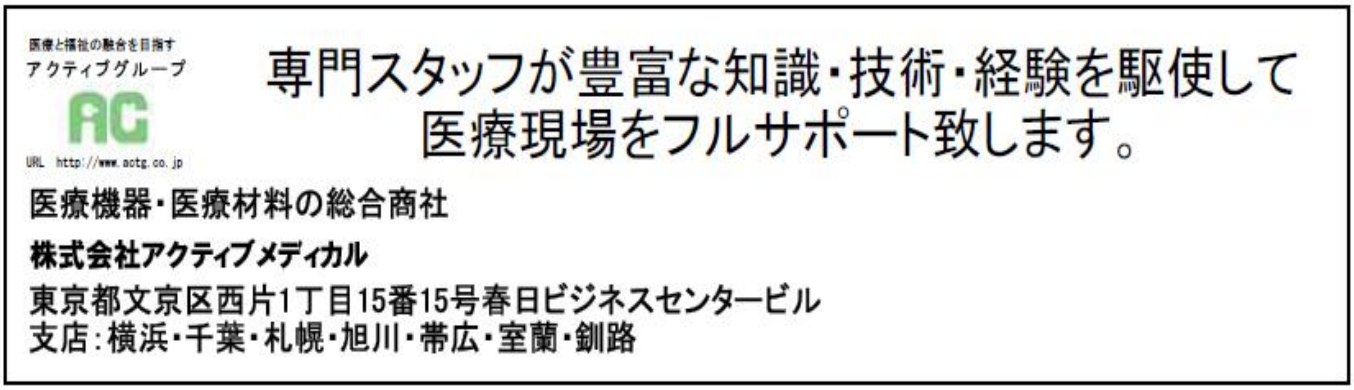
平成23年度8月～平成23年9月までの理事会において以下の報告・協議がされました。

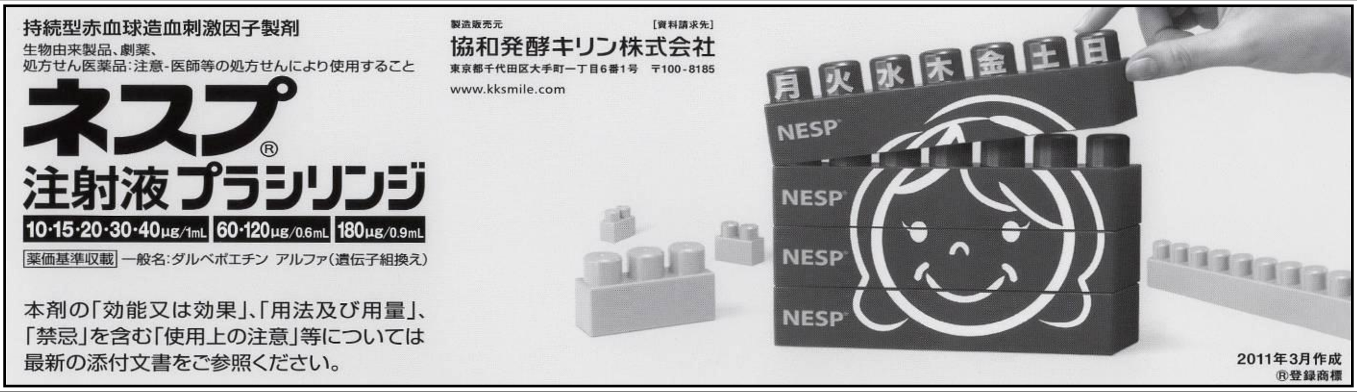
- ・第2回北海道呼吸療法セミナーの開催
- ・公益事業推進委員会
- ・第6回医療安全セミナーの開催
- ・道庁パネル展への参加
- ・他団体による各種セミナーへの後援
- ・道庁と事業報告等における話し合い
- ・日本の医療を守る道民協議会への参加


日本語ソフトとの連携で
簡単・効率的にテストを行えるME機器チェッカ
輸液ポンプチェッカ、除細動器チェッカ、パルスオキシメータチェッカ、SpO2センサテスタ、
ECGシミュレータ、ペイシェントシミュレータ、非観血式血圧計チェッカ、電気安全アナライザ
簡単オートテスト
レポート自動作成
データ管理もできる！
Datrend Systems Inc.
機器台帳
購入台帳
試用台帳
配置表
貸出・返却
さらに
機器管理システムが連動！
院内ME機器・医療備品を台帳・カルテ管理する
ME機器総合情報管理システムとの連携により、
保守・点検時に測定した各種データやレポートを
自動的に電子データにて管理することが可能です。
Me-ARC
管理レポート
定期保守
点検保守
部品管理
ICタグ連動
Something to Life METS 株式会社 メッツ
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7
E-mail: sales@mets-tokyo.jp
TEL:(03)3888-8445

経験と実績から生まれたME機器管理システム
HOSMA®
Hospital Management System
詳しくはネットで ▸▸▸ www.hosma.net
株式会社ムトウテクノス　札幌市中央区北2条西17丁目1-2　TEL: 011-644-6400

経口そう痒症改善剤　劇薬、処方せん医薬品注)
薬価基準収載
レミッチ® カプセル2.5μg
REMITCH®
一般名：ナルフラフィン塩酸塩
注）注意－医師等の処方せんにより使用すること
本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の
注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。
'TORAY'　製造販売元　東レ株式会社　東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
販売元（資料請求先）　鳥居薬品株式会社　東京都中央区日本橋本町3-4-1　http://www.remitch.jp
提携　JT　日本たばこ産業株式会社　東京都港区虎ノ門二丁目2番1号
2010年6月作成


医療と福祉の融合を目指す
アクティブグループ
AC
URL http://www.actg.co.jp
専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して
医療現場をフルサポート致します。
医療機器・医療材料の総合商社
株式会社アクティブメディカル
東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル
支店：横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路


持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、
処方せん医薬品：注意-医師等の処方せんにより使用すること
ネスプ®
注射液プラシリンジ
10・15・20・30・40μg/1mL　60・120μg/0.6mL　180μg/0.9mL
薬価基準収載　一般名：ダルベポエチン アルファ（遺伝子組換え）
本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、
「禁忌」を含む「使用上の注意」等については
最新の添付文書をご参照ください。
製造販売元［資料請求先］
協和発酵キリン株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号　〒100-8185
www.kksmile.com
月 火 水 木 金 土 日
NESP
2011年3月作成
®登録商標

旭中空糸型ダイアライザー
APS-EA
APS-A Series
「優れた生体適合性」と「高い溶質除去性能」で、
患者さまの様々なニーズに応えられる
透析治療を実現します。
旭中空糸型ダイアライザー APS-EA
承認番号 22200BZX00607000
血球細胞除去用浄化器
セルソーバ
Cellsorba® E
潰瘍性大腸炎治療の
スタンダードへ
一般用
EX
小児・低体重者用
EI
旭化成クラレメディカル株式会社
http://www.asahikasei-kuraray-medical.co.jp
血球細胞除去用浄化器 セルソーバE
承認番号 21300BZZ00440000

THE SERVO BRAND
サーボベンチレータは、信頼のある性能と使いやすさを備えたベンチレーション
システムです。病院内の多種多様な条件に合わせて使用することができます。
MAQUET
新生児・小児・成人用人工呼吸器
サーボベンチレータ
Servo i
医療機器承認番号:
21200BZY00120000
FUKUDA DENSHI
本 社 /〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2-2-1 TEL(011)721-3251(代) http://www.fukuda.co.jp/
お客様窓口…☎(03)5802-6600／受付時間:月～金曜日(祝祭日,休日を除く)9:00～18:00
●医療機器専門メーカー フクダ電子北海道販売株式会社
●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光5条3-1-1 ☎(0166)32-6970(代)
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 ☎(0154)39-1088(代)
●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-15 ☎(0138)55-6097(代)

止血弁付安全留置針
ハッピーキャスV
■世界初の新機能「止血弁」
■針刺し防止機構
メディキット株式会社
発 売 元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2 TEL.03-3839-0201 http://www.medikit.co.jp/
製造販売元：東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6 TEL.0982-53-8000 http://www.togomedikit.co.jp/

NIPRO
マキシフラックス®
MFX-eco タイプ
血液透析濾過器 高度管理医療機器
医療機器承認番号：22200BZX00931000
BPA FREE
maxiflux®
eco
● 透水性能に優れるポリエーテルスルホンを中空糸膜素材に採用。
● 性能の異なるMFX-eco・MFX-S ecoの2種類をラインアップ。
● 最大2.5㎡までの各4種類の膜面積。
● ポリプロピレン製のケースを採用し環境ホルモンBPA*を排除。
※BPAはビスフェノールAの略称です。
NIPRO 製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

準備から返血までの操作をひとつの流れとして
安全性の向上と作業性の最適化を実現しました
透析液
生理食塩液
MODEL DCG-03
多用途透析用監視装置
Hybrid
D-FAS
Dialysis - Full Assist System
※任意仕様
Brand new
NIKKISO
Original technologies
日機装株式会社
本 社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL: 03-3443-3751 FAX: 03-3473-4965

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
	旭川赤十字病院	臨床工学課	脇田邦彦
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川リハビリテーション病院		木村吉治
	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	野尻　誠

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233
旭川市豊岡３条６丁目
２番２０号
０１６６－３４－０１１１